



こんにちは

日本共産党

西野さち子です

くらしの目線で市政を変える

解散総選挙！安倍政治を変えよう

安倍首相は、28日召集予定の臨時国会の冒頭で衆議院の解散を決断したと報道されています。これまで野党4党は早期に臨時国会を開くように求めてきました。しかし、安倍内閣は森友問題や加計学園問題を追及されると困るので、国会の開会を伸ばし続けてきました。野党の準備が整うまでに解散をして、憲法の改悪を狙っています。10月中の投開票が有力と言われています。10月18日に金森と西野さち子市議は、桃山・醍醐地域6か所をキャラバン宣伝し、日本共産党への指示を訴えました。西野市議は敬老乗車証制度を守ろうと訴えました。

敬老乗車証を守ろう！緊急集会

京都市は敬老乗車証の今の制度を廃止して、新しい制度にしようとしています。最初に無料のチケットを配布して、それがなくなれば乗るたびに100円程度の料金を払う制度を考えています。しかし、無料券を何枚配るのか、1回100円なのか、ま



だ何も決まっています。日本共産党は多くの市民の声を届けて今の制度を守ろうと16日にパセオダイゴローで緊急の市民集会を開きました。「他党の議員はどんな意見を言っているのか」「敬老乗車証がなくなったら、家にいることが多くなり、鬱になりそう」「今は一人暮らしの義母が敬老乗車証で買い物に行っているが、なくなれば私が車で買い物に行くことになる。嫁姑の問題」。社交ダンスの講師の方からは「老化は足からくる。健康のためにと遠くから敬老乗車証を使って通ってくる生徒さんも多い」と口々に思いが出されました。

大型台風の中、65人の方が参加され、関心の高さがうかがえる集会でした。「出された声を議会に届けて頑張ります」と西野市議は話しました。



「市民の足を守る会」創立20周年

「市民の足を守る会」には、「醍醐地域に小型循環バスを！」と運動を始めた19年

前から醍醐の「会」も参加をしてきました。「市民の足を守る会」の20周年のシンポジウムが開かれ、西野さち子市議が参加をしました。土居靖範立命館大学名誉教授の『「安心・安全に、かつ生き生きと生きていくための「公共交通」整備を大切に」市政が望まれる』と題した講演がありました。土居教授は、「京都市交通基本条例の制定を」との立場から、

「住民が利用できる利用したいバス路線をどう作るかが重要。移動権が制約されると日常生活や文化生活、社会参加が貧困になるが、極端な場合は生存権が脅かされる」とお出かけする効果をお話されました。

